

「新宿区健康づくり行動計画（平成24年度～平成29年度）」進捗状況 ～主な指標の達成状況～

資料 2

大目標	中目標（大目標を達成するための具体的な目的）	小目標（中目標を達成するための方法、手段）	主な指標の達成状況	現状値 （22年度）	目標値 （29年度末まで）	27年度実績
生活習慣病を予防します	メタボリックシンドローム該当者・予備群を減らすために、健康診査等を活用した健康管理を実践します	① メタボリックシンドロームに関する正しい知識や健診受診を促す健康教室や普及啓発を行います	◆ 特定健康診査受診率 平成22年度の現状数値31.5%から、27年度は2.3ポイント上昇し、33.8%（実数値）となりました。第二期特定健康診査等実施計画では、目標値を27年度は44%としているため、受診率向上が課題です。 ※法定報告値は11月に確定する予定です。	31.5%	50.0%	33.8% （実数値） （法定報告値11月中旬確定予定）
		② 健診受診率の向上をめざし、健診を受けやすい体制づくりを進めます	◆ 特定保健指導の実施率 実績は未確定ですが、第二期特定健康診査等実施計画では、目標値を27年度は30%としています。25年度より民間事業者を導入し、保健指導プログラムの充実や利便性の向上を図り、更なる実施率向上に向けての取り組んでいます。 ※法定報告値は11月に確定する予定です。	8.9%	40.0%	未確定 （法定報告値11月中旬確定予定）
		③ 保健指導の充実を図ります				
	運動・スポーツ活動の習慣化を推進します	① 運動・スポーツの魅力と必要性の理解を進めます	◆ スポーツ・学習活動等を実施している人の割合 平成27年度第4回区政モニターアンケートでは、57.7%で、前年度と比較すると4.8%上回る結果となりました。引き続き目標値の60%達成を目指します。	52.7%	60.0%	57.7% （平成27年度 区政モニターアンケート）
		② 身近で気軽にできる運動・スポーツ環境を整備します				
		③ NPO・民間団体との運動・スポーツの事業間連携を強化します				
	適正飲酒の推進と喫煙者の減少をめざします	① 適正飲酒や喫煙・受動喫煙に関する正しい知識の普及啓発を行います	◆ 多量飲酒者（毎日かつ1日平均3合以上飲酒している人）の割合 前年度と比較すると、男性は増加し、女性は減少しましたが、ほぼ横ばいの状況にあるため、引き続き適正飲酒に関する普及啓発を行っていきます。	【40～74歳】 男 4.1% 女 0.8%	平成22年度比 10%減 男 3.7% 女 0.7%	【40～74歳】 男4.9% 女0.8% （平成27年度健診データ）
		② 禁煙指導の充実と受動喫煙の防止を推進します	◆ 喫煙者の割合 20～39歳、40～74歳で男女とも減少しています。20～39歳では、男女とも目標値を達成しましたが、40～74歳では、男女とも引き続き喫煙や受動喫煙に関する正しい知識の普及啓発を行っていきます。	【20～39歳】 男 35.2% 女 14.0% 【40～74歳】 男 27.4% 女 11.7%	平成22年度比 10%減 【20～39歳】 男 31.68% 女 12.6% 【40～74歳】 男 24.66% 女 10.53%	【20～39歳】 男30.6% 女10.8% 【40～74歳】 男25.9% 女10.6% （平成27年度健診データ）
	糖尿病の予備群・有病者を減らします	① 糖尿病に関する正しい知識や健診受診を促すための普及・啓発を行います	◆ 1日に必要な野菜の摂取量（350g）を知っている区民の割合 26年度に行った計画の「中間の見直し」で追加した指標です。26年度数値は29.1%で29年度末の目標値を40%と設定しましたが、27年度実績で36.6%であったため、29年度末目標値を上方修正し、45%としてさらなる普及啓発を行っていきます。	29.1% ※26年度数値	45% （「中間の見直し」での目標値：40%）	36.6% （平成27年度 区政モニターアンケート）
		② 栄養のバランスを考えて食べる人を増やします	◆ 肥満者（BMI25以上）の割合 20～39歳では、前年と比較し横ばいの状態です。40～64歳では、前年と比較し男性は増加している一方、女性は減少しています。引き続き食生活に関する知識の普及啓発を行うほか、保健指導や健康教室の実施により、肥満者の減少を図ります。	【20～39歳】 男 25.1% 女 7.7% 【40～64歳】 男 33.1% 女 13.2%	男性：平成22年度比15%減 女性：平成22年度比10%減 【20～39歳】 男21.3% 女 6.9% 【40～64歳】 男28.1% 女11.9%	【20～39歳】 男22.5% 女8.4% 【40～64歳】 男34.8% 女13.1% （平成27年度健診データ）
		③ 肥満者を減らします	◆ 糖尿病の予備群・有病者の割合 前年度と比較すると、男女とも減少しています。全体としてはほぼ目標値を達成していますが、糖尿病に関する正しい知識の普及啓発、高血糖改善のための保健指導や健康教室を継続するとともに、糖尿病重症化予防事業を実施していきます。	40～64歳 【予備群】 男 8.2% 女 3.8% 【有病者】 男 9.6% 女 3.0%	平成22年度比10%減 【40～64歳】 【予備群】 男7.4% 女3.4% 【有病者】 男8.6% 女2.7%	【40～64歳】 【予備群】 男6.1% 女2.9% 【有病者】 男8.7% 女2.6% （平成27年度健診データ）
		④ 高血糖者の保健指導の充実を図ります				
	口腔機能の維持・向上をめざします	① 自分の歯や口の健康を保つための知識を普及啓発します	◆ 歯の本数（60歳時） 計画の「中間の見直し」で、目標値の26本を27本に上方修正しました。27年度の実績は26.3本です。さらに目標値の達成を目指していきます。	25.2本	27本	26.3本 （平成27年度 新宿区歯科健康診査：60歳）
		② 歯科保健指導を充実します	◆ 進行した歯周病がある人の割合 平成27年度歯科健康診査では、70歳では46.9%と目標値の49%を下回り、目標を達成しました。50歳、60歳でも目標達成を目指していきます。	【50歳】44.4% 【60歳】52.6% 【70歳】54.5%	【50歳】38% 【60歳】46% 【70歳】49%	【50歳】44.7% 【60歳】47.9% 【70歳】46.9% （平成27年度 新宿区歯科健康診査）
		③ 歯と口の健康を支える環境の充実を図ります				

大目標	中目標（大目標を達成するための具体的な目的）	小目標（中目標を達成するための方法、手段）	主な指標の達成状況	現状値 (22年度)	目標値 (29年度末まで)	27年度実績
総合的にがん対策を推進します	がん予防を推進します	① がん及びその予防に関する情報提供と普及啓発の充実を図ります ② たばこ対策を始めとした健康的な生活習慣を推進します ③ 肝炎ウイルス検診を推進します ④ 子宮頸がん予防ワクチン接種を推進します ※国の勧告により、現在、積極的な勧奨を差し控えています。	◆ がんに関する正しい知識を持っている人の割合 「がんを防ぐための新12か条」の各項目を知っているか、さらに実践しているかを調査しました。27年度区政モニターアンケートの結果では、7項目以上知っている（実践している）人の割合は、「知っている」は92.8%で、前回25年度調査より増えているのに対し、「実践している」は38.7%で、前回調査より減少しています。前回同様、知っている人の割合に比べ、実践している人の割合は少ない結果となりました。正しい知識の普及啓発とともに、自身のことと位置付け、自らががん予防を実践していくように普及啓発を行っていく必要があります。	—	50.0%	「知っている」 92.8% 「実践している」 38.7% （平成27年度 区政モニターアンケートで、 がん予防対策の12項目のうち、 7つ以上知っている （実践している）人の割合
	がんの早期発見・早期治療を推進します	① がん検診の受診率と精密検査受診率の向上をめざします ② 精度の高いがん検診を実施します ③ がんの早期治療を支援します	◆ がん検診受診率（胃がん、大腸がん、肺がん、前立腺がん、子宮がん、乳がん） 27年度は、前立腺がんを除き、前年に比べ各健診とも受診率は上昇しました。28年度からは新たに再受診勧奨も始め、更なる受診率の向上を目指します。	【胃がん】10.3% 【大腸がん】13.9% 【肺がん】11.9% 【前立腺がん】15.8% 【子宮がん（子宮頸がん・体がん）】15.3% 【乳がん】17.7% 【胃がん精検】40.9% 【大腸がん精検】22.7% 【肺がん精検】34.0% 【子宮頸がん精検】35.2% 【子宮体がん精検】14.3% 【乳がん精検】28.6%	【胃がん】50% 【大腸がん】50% 【肺がん】50% 【前立腺がん】50% 【子宮がん（子宮頸がん・体がん）】50% 【乳がん】50% 【胃がん精検】70%以上 【大腸がん精検】70%以上 【肺がん精検】70%以上 【子宮頸がん精検】70%以上 【子宮体がん精検】70%以上 【乳がん精検】80%以上	【胃がん】12.8% 【大腸がん】21.3% 【肺がん】18.2% 【前立腺がん】17.1% 【子宮がん（子宮頸がん・体がん）】18.9% 【乳がん】25.6% 【胃がん精検】40.9%（暫定値） 【大腸がん精検】37.0%（暫定値） 【肺がん精検】33.4%（暫定値） 【子宮頸がん精検】13.5%（暫定値） 【子宮体がん精検】0%（暫定値） 【乳がん精検】47.6%（暫定値）
	がん患者とその家族の苦痛や不安の軽減と療養生活の質の向上をめざします	① がん患者の在宅緩和ケアの充実と療養生活の質の向上をめざします ② 在宅療養に関する理解促進と相談体制の充実を図ります	◆ 「緩和ケア」について知っている人の割合 28年度に「新宿区高齢者保健と福祉に関する調査」で同じ質問を実施する予定です。	26.5%	40.0%	—
こころの健康を大切にします	こころの健康づくりを支援します	① こころの病気について正しい知識を広めます ② ストレスと上手に付き合うためのストレスマネジメントを促進します ③ ストレスを軽減するために、休養の確保の重要性について普及啓発します	◆ ストレスを上手に対処している人の割合 ◆ 十分な睡眠がとれていると思う人の割合 28年度実施の健康づくりに関する調査で質問する予定です。	76.2% 65.5%	85.0% 75.0%	—
	うつ等こころの不調への気づきや早期相談・早期治療を支援します	① こころの健康度に関する自己診断力の向上をめざします ② 身近な人の気づき・声かけ・つなぎ・見守りを促進します ③ 身近で気軽に相談できる環境を整備します	◆ ゲートキーパー養成講座受講者数（累積実数） 自殺対策におけるゲートキーパーとは、悩んでいる人に気づき、声をかけ、話を聞いて、必要な支援につなげ、見守る人のことです。計画の「中間の見直し」で、29年度目標値を2,500人に上方修正し、目標達成に向け取り組んでいます。27年度の実績は2,132人でした。	731人	2,500人	2,132人
	こころの病気の早期回復と社会復帰、そして再発防止を支援します	① こころの健康づくりと社会復帰に向けて、地域との連携・協力を進めます ② こころの病気を持つ人や家族の安定した療養生活を支援します				
女性の健康づくりを推進します	女性の健康に関する拠点施設を整備し、正しい知識の普及を図ります	① 女性の健康に関する拠点施設を整備します ② ライフサイクルに応じた女性の健康管理に関する正しい知識の普及を図ります	◆ 「女性の健康支援」に関するホームページへのアクセス件数（年間） 「女性の健康支援」に関するホームページの情報充実（累積） ホームページのアクセス件数は、27年度は5,714件と目標を達成しました。コンテンツ数は、26年度から10に増やし、引き続き内容を充実させています。	【アクセス件数】 1,789件 【情報充実（コンテンツ数）】 1	【アクセス件数】 3,600件 【情報充実（コンテンツ数）】 6	【アクセス件数】 5,714件 【情報充実（コンテンツ数）】 10
	女性の健康を支える活動を推進します	① 女性の健康について相談する場や学習する場の充実を図ります ② 女性の健康づくりを進める交流活動を支援します ③ ネットワークを構築し、女性の健康づくりを推進します	◆ 「女性の健康づくり」に関する自主的な交流活動グループの設立や活動への支援 25年度の「乳がん体験者の会」に続き、26年度には「女性の健康づくりサポーターの会」を立ち上げ、継続して2団体の運営を行っています。	—	2団体	2団体
	女性特有のがん対策を推進します	① 再掲 子宮頸がん予防ワクチン接種を推進します ※国の勧告により、現在、積極的な勧奨を差し控えています。 ② 子宮頸がん検診及び乳がん検診の受診率の向上をめざします	◆ （再掲）子宮がん（子宮頸がん・体がん）検診受診率（再掲）乳がん検診受診率 前年度に比べ、受診率の上昇がみられました。平成28年度から、新たに再受診勧奨を実施し、更なる受診率の向上を目指します。	【子宮がん（子宮頸がん・体がん）】 15.3% 【乳がん】17.7%	【子宮がん（子宮頸がん・体がん）】 50.0% 【乳がん】50.0%	【子宮がん（子宮頸がん・体がん）】 18.9% 【乳がん】25.6%

大目標	中目標（大目標を達成するための具体的な目的）	小目標（中目標を達成するための方法、手段）	主な指標の達成状況	現状値 (22年度)	目標値 (29年度末まで)	27年度実績
健康的で豊かな食生活を実践できる食育を推進します	生涯にわたって健康をつくる食習慣を実践します	① 規則正しい食生活を支援します	◆ 食育に関心を持っている区民の割合 90%台を維持していますが、引き続き目標達成を目指します。	91.5%	95.0%	91% （平成27年区政モニターアンケート）
		② 自立した食生活を送るための知識や技術の向上を図ります	◆ 毎日朝食を食べる子どもの割合 前年度と比較して増減はありませんでした。	92.8%	95.0%	91.4% （平成27年度新宿区立小学校及び中学校における食育アンケート）
		③ 食の安全について正しい情報提供を行います				
	食の大切さを見直し、食文化を継承していきます	① 食に感謝するところを育み食事のマナーを身につけます	◆ 食事を残さず食べるようにしている子どもの割合 前年度と比べ3.9ポイント増加しています。	68.0%	80.0%	75.3% （平成27年度新宿区立小学校及び中学校における食育アンケート）
		② 食文化の継承のための活動を支援します				
		③ 食の生産や流通等について理解を深め、環境と調和を図っていきます	◆ 東京都産の農産物を3品目以上、学校給食に取り入れている小中学校数（年間） 前年度と比較して2校増加し、目標を達成しています。	9校	25校	28校 （平成28年度学校給食実態調査）
	食を通じたコミュニケーションを広げます	① 食に携わるネットワークを活用した食育を推進します ② 共食を通じた食のコミュニケーションを拡大します ③ 食育ボランティアの育成と活動を支援します ④ 食を通じて国際交流や多文化共生を推進します	◆ 食育ネットワークを構成する団体数 参加団体を固定した会議方式から、誰もが参加できるネットワークに変更したことにより、団体数が10団体から19団体に増加しました。	—	12団体	19団体